

低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の認定申請について (北海道電力株式会社)



環境省は北海道電力株式会社より低濃度ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB という)廃棄物に係る無害化処理の認定申請を受け、平成 29 年 2 月 2 日付けでその告示を行うとともに、申請書等の縦覧について公表しました。(縦覧期間:平成 29 年 3 月 1 日まで)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律 137 号)の規定に基づき、微量 PCB 廃棄物についての高度な技術を用いた無害化処理、または行おうとする者には、環境大臣の認定を受けることができるようになりました。また、環境大臣は、認定の申請があった場合、申請に係る事項等について告示し、申請書等を告示の日から 1 ヶ月間公衆の縦覧に供しなければならないこととされています。

同法の規定により、本認定に係る施設の設置に関し利害関係を有する者は、環境大臣に生活環境の保全上の見地からの意見書を提出することができることとされており、当該意見募集についても併せて行うことを公表しました。(意見提出期限:平成 29 年 3 月 15 日まで)

(申請の概要)

① 申請者の住所、名称、代表者の氏名

札幌市中央区大通東 1 丁目 2 番地
北海道電力株式会社 代表取締役社長 真弓 明彦

② 施設設置場所

北海道苫小牧市字弁天 504 番 6

③ 施設の種類

PCB 汚染物の洗浄施設

④ 処理を行う廃棄物の種類

PCB 汚染物のうち、電気機器又は OF ケーブル(PCB を絶縁材料として使用した電気機器又は OF ケーブルを除く。)に使用された絶縁油であって、微量の PCB によって汚染されたものが塗布され、染み込み、付着し、又は封入されたものが廃棄物となったもの

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っております。是非お任せ下さい。

資料 平成 29 年 2 月 2 日付 環境省報道発表資料

研究開発箇所 佐野史明

